

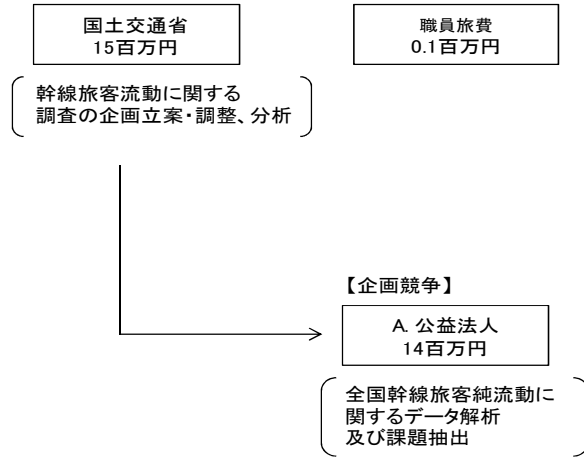
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	全国幹線旅客純流動調査		担当部局庁	総合政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H14~H24		担当課室	総務課		総務課長 野村 正史		
会計区分	一般会計		政策・施策名	10 国土の総合的な利用、整備及び保全、国土に関する情報の整備 37 総合的な国土形成を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	国土形成計画(全国計画)(平成20年7月4日閣議決定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	総合的な交通体系の整備を社会的要請に沿って効率的に進めるにあたっては、旅客流動の現況を的確に捉えるとともに、将来需要の予測などの分析が不可欠である。本調査は、幹線交通に係る基礎情報として、交通機関別の流動量や旅客の属性、旅行目的などのデータを定期的に取得・整理し、現状を施策へ反映させるとともに、関係行政機関等へ提供することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	5年毎に各交通機関の所管部局による実態調査を組み合わせ、「全国幹線旅客純流動調査」として、旅客の流動量や属性、旅行目的等の情報の集計結果について、流動量の傾向分析や社会的に関心の高いテーマについて分析するとともに、調査手法等の課題を整理する。							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	14	45	15	-	-	
	執行額	14	42	14	-	-		
	執行率(%)	99.0%	95.0%	94.9%	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	本施策は、総合的な交通体系の分析ツールの作成、提供とその効果的な活用を図るものであり、成果目標及び成果実績を明確に示すことは困難な性質のものである。			達成度	%			
	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
本施策は、総合的な交通体系の分析ツールの作成、提供とその効果的な活用を図るものであり、活動指標を定めて実施する性質のものではない。					()	()	()	
単位当たりコスト	2.3(百万円/項目)		算出根拠	X:実績額(14百万円)、Y:検討項目数(6項目)				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・公共投資の効率化・透明化に係る強い社会的要請に応えるものであり、関係行政機関等からも強いニーズがある。 ・また、全国的な視点での調査であり、透明性確保の観点からも国において実施すべきものである。 		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・調査内容が専門的かつ高度であることから、第三者機関である企画競争有識者委員会に諮ったうえで、委託先を選定しており、競争性を確保している。 ・専門性が高い調査を社会的要請に応えた形で実施するためには、迅速かつ計画的対応が必要であり、内容を精査したうえで発注している。 		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—				
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	<ul style="list-style-type: none"> ・全国規模の純流動の観点から幹線交通機関における輸送実態を網羅的に把握する唯一の調査であり、調査の結果は、関係行政機関等における需要予測や事業計画等に広く活用されている。 (第4回調査の利用件数:約7千件) 		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> ・公共投資の効率化・透明化に係る強い社会的要請に応え、関係行政機関等からも強いニーズがあり、全国的な視点、効率性や透明性確保の観点からも、国において実施すべきものである。 ・透明性を確保した上で受注者を選定した上で、競争性は十分に確保されている。また、専門性が高い調査を迅速かつ計画的に実施するため、内容を精査したうえで発注している。 ・全国規模の純流動の観点から幹線交通機関における輸送実態を網羅的に把握する唯一の調査であり、関係行政機関等における需要予測や事業計画等に広く活用されている。 					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
抜本業的全体改善の	事業完了に伴い廃止					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
	24年度で事業完了のため廃止					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	86	平成23年	32	平成24年	35

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A. 一般財団法人 運輸政策研究機構			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
役務費	第5回調査の結果の解析及び調査方法等の課題の整理	14			
計		14	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	一般財団法人 運輸政策研究機構	第5回調査の結果の解析及び調査方法等の課題の整理	14	1	94.9%
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
9	-	-	-	-	-
10	-	-	-	-	-